

(2) 死亡

ア 死亡数及び死亡率

死亡数は60,264人で、前年の59,137人より1,127人増加した。

死亡率は、人口千人に対し8.4で前年の8.3を0.1ポイント上回った。全国(10.1)より 1.7ポイント下回っている。

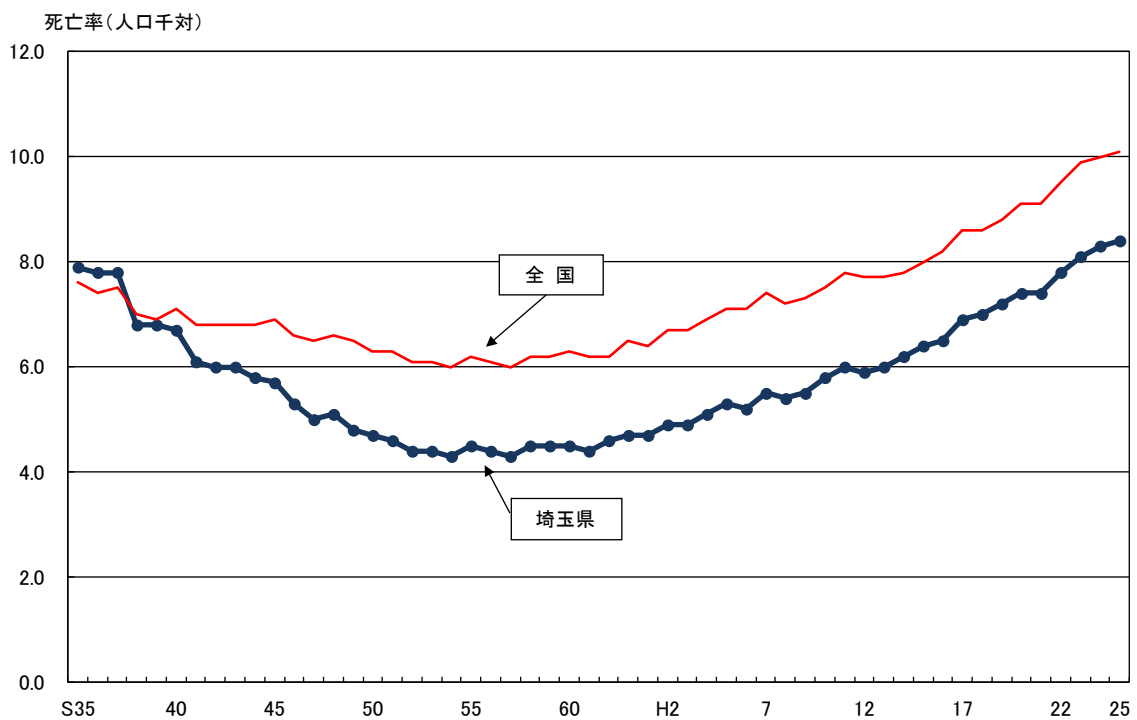
死亡率の年次推移をみると、昭和35年7.9、昭和45年5.7、昭和50年4.7、昭和55年4.5と低下し、以降4.5前後で推移していたが、昭和61年以降上昇傾向に転じた。

都道府県別にみると、本県の死亡率は昭和60年以降平成13年まで、昭和62年を除き低率順で第1位、平成14、15年は沖縄県に次いで第2位、16年からは沖縄県及び神奈川県に次いで第3位となっている。

表－6 死亡数及び死亡率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24	25	
数	埼玉県	19 089	20 117	21 836	22 688	24 129	26 417	31 222	36 799	40 486	48 095	55 487	57 670	59 137	60 264
	全国	706 599	700 438	712 962	702 275	722 801	752 283	820 305	922 139	961 653	1 083 796	1 197 012	1 253 066	1 256 359	1 268 436
率	埼玉県	7.9	6.7	5.7	4.7	4.5	4.5	4.9	5.5	5.9	6.9	7.8	8.1	8.3	8.4
	全国	7.6	7.1	6.9	6.3	6.2	6.3	6.7	7.4	7.7	8.6	9.5	9.9	10.0	10.1

図－5 死亡率の年次推移(埼玉県・全国)



イ 死因

(ア)死因順位

平成25年の死亡数を死因順位別にみると、第1位は悪性新生物 18,100人(死亡総数の30.0%)、第2位は心疾患 10,186人(16.9%)、第3位は肺炎 6,309人(10.5%)、第4位は脳血管疾患 5,472人(9.1%)、第5位は老衰 2,548人(4.2%)、第6位は自殺1,486人(2.5%)、第7位は不慮の事故 1,481人(2.5%)となっている。

死亡率(人口10万対)を前年度と比べると、上昇を示したのは悪性新生物、肺炎、老衰、肝疾患の4疾患であった。具体的には、悪性新生物(253.7)が3.7ポイント、肺炎(88.4)が4.6ポイント、老衰(35.7)が4.8ポイント、肝疾患(10.5)が0.8ポイント上昇した。

一方、低下したのは、心疾患、脳血管疾患、自殺、不慮の事故、腎不全、糖尿病の6疾患である。心疾患(142.8)が2.1ポイント、脳血管疾患(76.7)が0.7ポイント、自殺(20.8)が0.6ポイント、不慮の事故(20.8)が0.4ポイント、腎不全(15.5)が0.5ポイント、糖尿病(9.9)が0.6ポイントの低下となった。

表ー7 主な死因別死亡数及び死亡率(対前年比較)

埼玉県

死 因	平成25年			平成24年		
	数	率(人口 10万対)	死亡総数に 占める割合	数	率(人口 10万対)	死亡総数に 占める割合
総 数	60 264	844.7	100.0	59 137	829.9	100.0
悪 性 新 生 物	18 100	253.7	30.0	17 818	250.0	30.1
心 疾 患	10 186	142.8	16.9	10 325	144.9	17.5
肺 炎	6 309	88.4	10.5	5 972	83.8	10.1
脳 血 管 疾 患	5 472	76.7	9.1	5 517	77.4	9.3
老 衰	2 548	35.7	4.2	2 201	30.9	3.7
自 殺	1 486	20.8	2.5	1 528	21.4	2.6
不 慮 の 事 故	1 481	20.8	2.5	1 514	21.2	2.6
腎 不 全	1 109	15.5	1.8	1 142	16.0	1.9
肝 疾 患	804	11.3	1.3	745	10.5	1.3
糖 尿 病	707	9.9	1.2	749	10.5	1.3
小 計	48 202	675.7	80.0	47 511	666.7	80.3
そ の 他	12 062	169.1	20.0	11 626	163.1	19.7

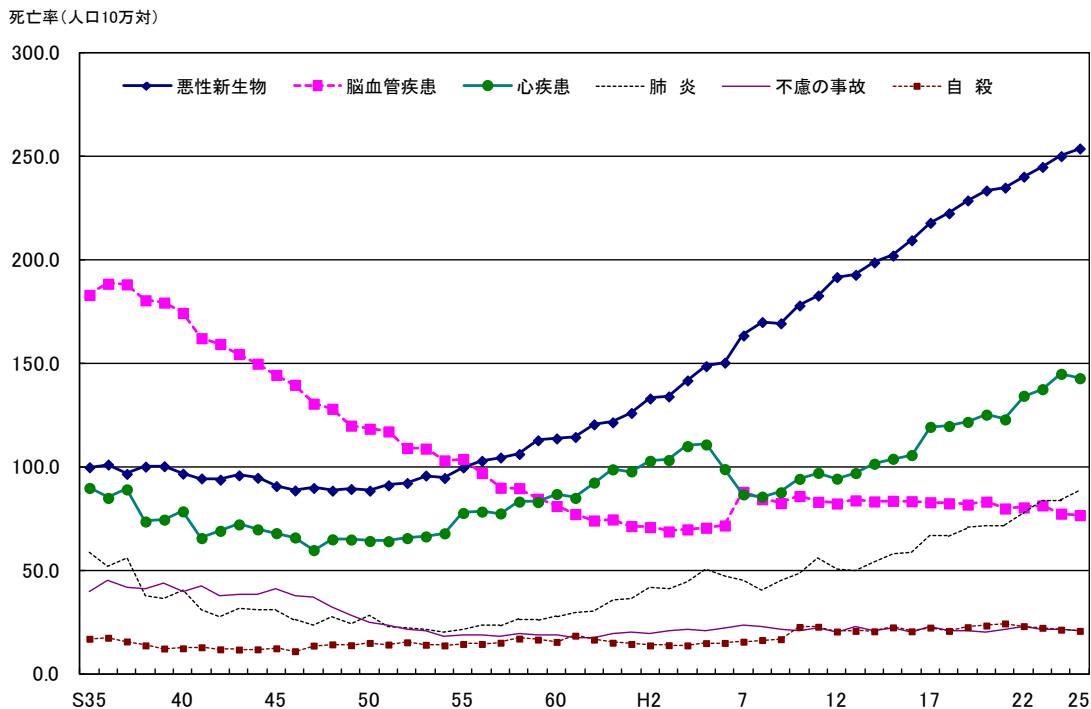
死因別に死亡率(人口10万対)の年次推移をみると、悪性新生物は昭和55年以降概ね上昇を続け、平成15年には200.0を超えた。また、昭和56年以降は死因順位第1位となり、平成25年の死亡総数に占める割合は30.0%となっている。

心疾患は、昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も緩やかな上昇を続けており、平成14年から100.0を越えている。平成25年の死亡総数に占める割合は16.9%となっている。

脳血管疾患は昭和36年をピークに低下し、昭和56年には悪性新生物にかわり第2位に、さらに昭和60年には心疾患にかわり第3位となり、その後も低下傾向にあったが、平成23年には、肺炎にかわり第4位となり、平成25年の死亡総数に占める割合は9.1%となっている。

なお、平成6・7年の心疾患及び脳血管疾患の著しい変動は、死亡傾向が急激に変化したものではなく、死因分類(ICD-10)及び死亡診断書の改正によるものと考えられる。

図一六 主要死因別死亡率の年次推移(埼玉県)



※死因分類(ICD-10)及び死亡診断書の改正による影響

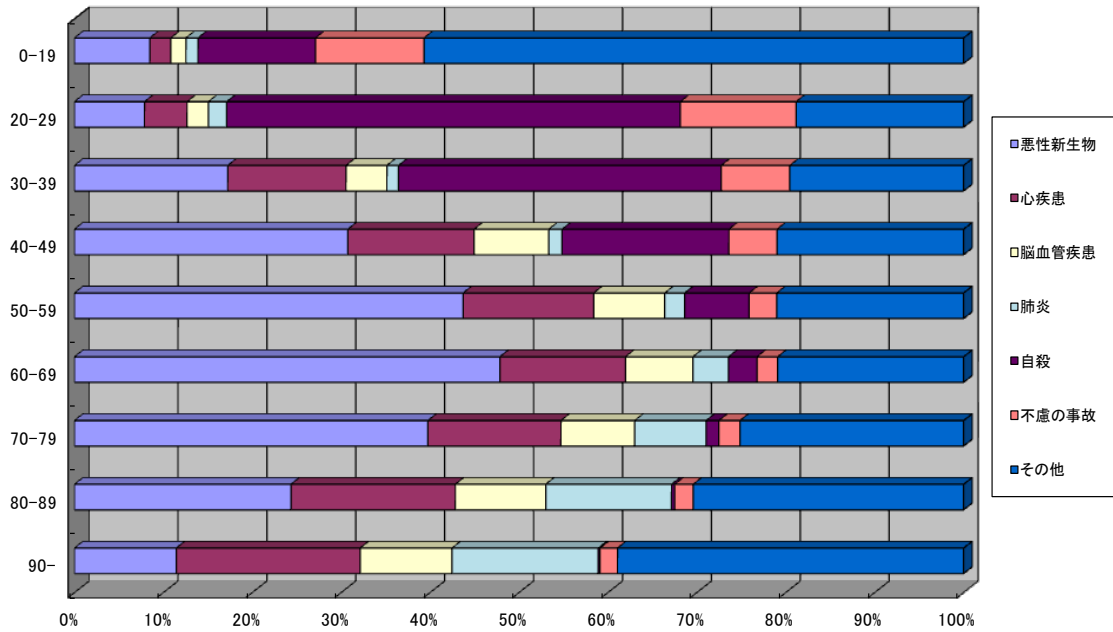
心疾患の平成6年から3年間は、大きく前年を下回っている。この低下は、平成7年1月施行の新しい死亡診断書(死体検案書)における注意書き「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」の影響が考えられる。

脳血管疾患は、平成7年は前年を大きく上回った。これは、死因分類の改正で、肺炎に影響を与えた疾患として脳出血を死亡原因とするようになった影響が考えられる。

なお、逆に肺炎は減少している。

年齢階級別に死因別割合をみると、10～30歳代では自殺、40～80歳代では悪性新生物、90歳以上では心疾患の割合が最も高くなっている。

図一七 年齢階級別にみた主要死因別割合



(イ) 悪性新生物(がん)

悪性新生物による死亡数は18,100人で、死亡総数の30.0%を占めている。全死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

年齢階級別にみると、70～79歳が6,088人で最も多く、80～89歳が4,908人、60～69歳が3,978人の順となっている。

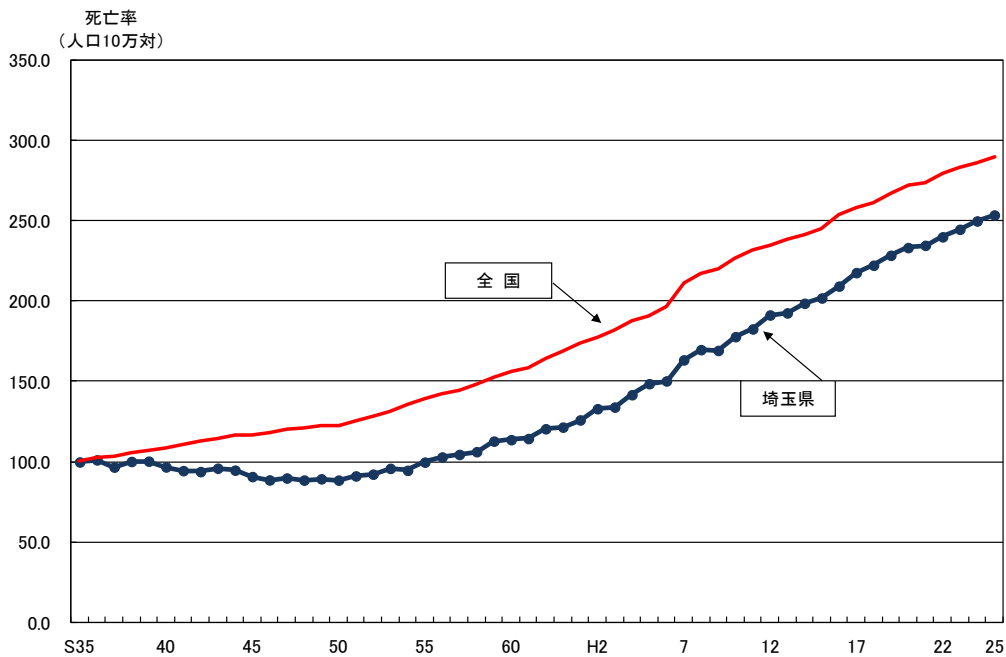
また、各年齢階級の死亡総数に占める割合をみると、60～69歳が47.9%で最も多く、50～59歳43.7%、70～79歳39.8%の順となっている。

死亡率(人口10万対)は、253.7で上昇を続けている。全国は290.3である。

表－8 悪性新生物による死亡数及び割合(年齢階級別)

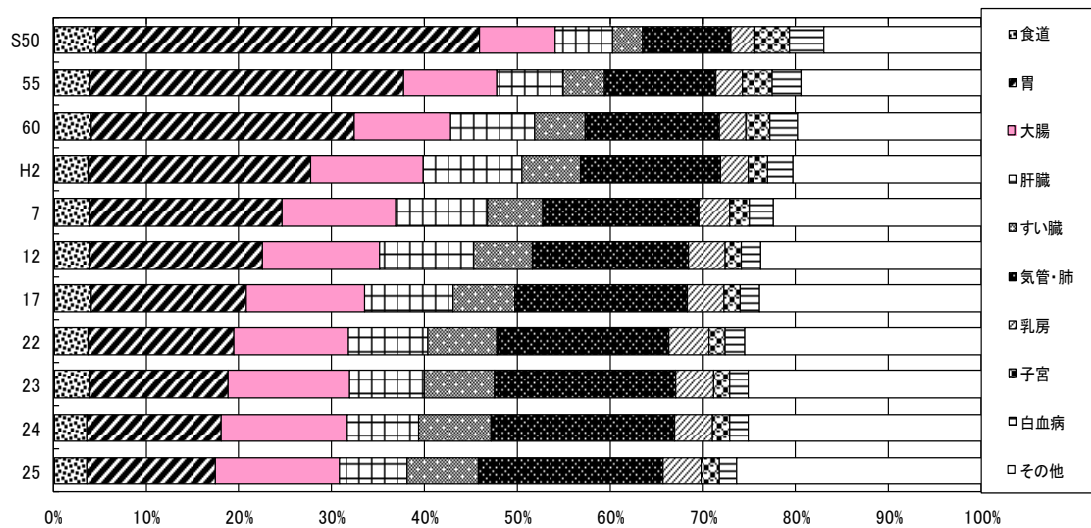
埼 玉 県											
	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	60 264	295	292	609	1 535	2 866	8 313	15 313	20 151	10 886	4
悪性新生物による死亡数	18 100	25	23	105	472	1 253	3 978	6 088	4 908	1 247	1
(各年齢階級別割合)	100.0%	0.1%	0.1%	0.6%	2.6%	6.9%	22.0%	33.6%	27.1%	6.9%	0.1%
死亡総数に占める割合	30.0%	8.5%	7.9%	17.2%	30.7%	43.7%	47.9%	39.8%	24.4%	11.5%	25.0%

図－8 悪性新生物による死亡率の年次推移(埼玉県・全国)



部位別にみると、「気管・気管支及び肺」が3,593人(19.9%)で最も多く、次いで「胃」が2,487人(13.7%)、「大腸」が2,437人(13.5%)の順となっている。

図－9 悪性新生物の部位別割合の推移(埼玉県)



表－9 悪性新生物部位別死亡数及び割合の年次推移

	埼 玉 県														
	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	23	24	25	
総数	2 426	2 914	3 508	4 265	5 404	6 665	8 518	10 942	13 163	15 190	17 058	17 424	17 818	18 100	
食道	120	142	183	192	207	264	321	420	500	614	635	679	635	652	
胃	1 272	1 393	1 535	1 763	1 830	1 891	2 036	2 268	2 450	2 534	2 677	2 598	2 568	2 487	
大腸	346	542	694	1 031	1 344	1 670	1 929	2 105	2 271	2 421	2 437	
(結腸)	178	290	410	664	878	1 101	1 283	1 364	1 555	1 603	1 681	
(直腸)	63	106	130	168	252	284	367	466	569	646	741	716	818	756	
肝臓	229	222	249	266	383	604	912	1 088	1 344	1 443	1 457	1 416	1 388	1 302	
すい臓	42	66	106	139	240	366	532	647	825	1 019	1 269	1 327	1 396	1 411	
気管・気管支及び肺	95	174	281	407	652	958	1 292	1 846	2 215	2 829	3 163	3 383	3 523	3 593	
乳房	40	38	77	110	158	199	253	362	511	607	726	702	703	745	
子宮	138	159	139	160	170	166	176	228	236	261	305	317	353	350	
白血病	58	84	98	158	169	200	230	287	276	302	376	362	343	350	
その他	369	530	710	724	1 053	1 323	1 735	2 452	3 136	3 652	4 345	4 369	4 488	4 773	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
食道	5.0	4.9	5.2	4.5	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	4.1	3.7	3.9	3.6	3.6	
胃	52.4	47.8	43.8	41.3	33.9	28.4	23.9	20.7	18.6	16.7	15.7	14.9	14.4	13.7	
大腸	8.1	10.1	10.3	12.1	12.3	12.7	12.7	12.3	13.0	13.6	13.5	
(結腸)	4.2	5.4	6.1	7.8	8.0	8.4	8.4	8.0	8.9	9.0	9.3	
(直腸)	2.6	3.6	3.7	3.9	4.7	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1	4.6	4.2	
肝臓	9.4	7.6	7.1	6.2	7.1	9.1	10.7	10.0	10.2	9.5	8.5	8.1	7.8	7.2	
すい臓	1.7	2.3	3.0	3.3	4.4	5.5	6.2	5.9	6.3	6.7	7.4	7.6	7.8	7.8	
気管・気管支及び肺	3.9	6.0	8.0	9.5	12.1	14.4	15.2	16.9	16.8	18.6	18.5	19.4	19.8	19.9	
乳房	1.7	1.3	2.2	2.6	2.9	3.0	3.0	3.3	3.9	4.0	4.3	4.0	3.9	4.1	
子宮	5.7	5.4	4.0	3.8	3.1	2.5	2.0	2.1	1.8	1.7	1.8	1.8	2.0	1.9	
白血病	2.4	2.9	2.8	3.7	3.1	3.0	2.7	2.6	2.1	2.0	2.2	2.1	1.9	1.9	
その他	15.2	18.2	20.2	17.0	19.5	19.8	20.4	22.4	23.8	24.0	25.5	25.2	25.2	26.4	

(ウ)心疾患

心疾患による死亡数は10,186人で、死亡総数の16.9%を占めている。

年齢階級別にみると、80～89歳が3,726人で最も多く、70～79歳が2,292人、90歳以上が2,252人の順となっている。

また、各年齢階級の死亡総数に占める割合は、90歳以上が20.7%で最も多く、80～89歳が18.5%、70～79歳が15.0%の順となっている。

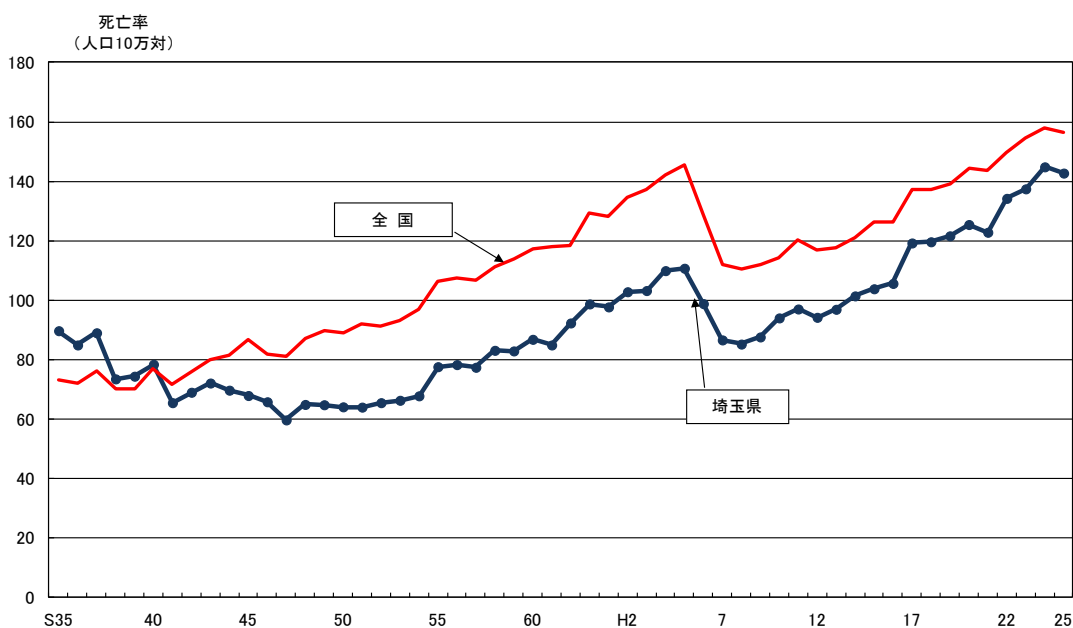
死亡率(人口10万対)は142.8で、近年は上昇傾向にある。全国は156.5である。

表一 10 心疾患による死亡数及び割合(年齢階級別)

	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	60 264	295	292	609	1 535	2 866	8 313	15 313	20 151	10 886	4
心疾患による死亡数	10 186	7	14	81	218	421	1 174	2 292	3 726	2 252	1
(各年齢階級別割合)	100.0%	0.1%	0.1%	0.8%	2.1%	4.1%	11.5%	22.5%	36.6%	22.1%	0.1%
死亡総数に占める割合	16.9%	2.4%	4.8%	13.3%	14.2%	14.7%	14.1%	15.0%	18.5%	20.7%	25.0%

埼玉県

図一 10 心疾患による死亡率の年次推移(埼玉県・全国)



(エ)肺炎

肺炎による死亡数は6,309人で、死亡総数の10.5%を占めている。

年齢階級別にみると、80～89歳が2,852人で最も多く、90歳以上が1,790人、70～79歳が1,229人の順となっている。

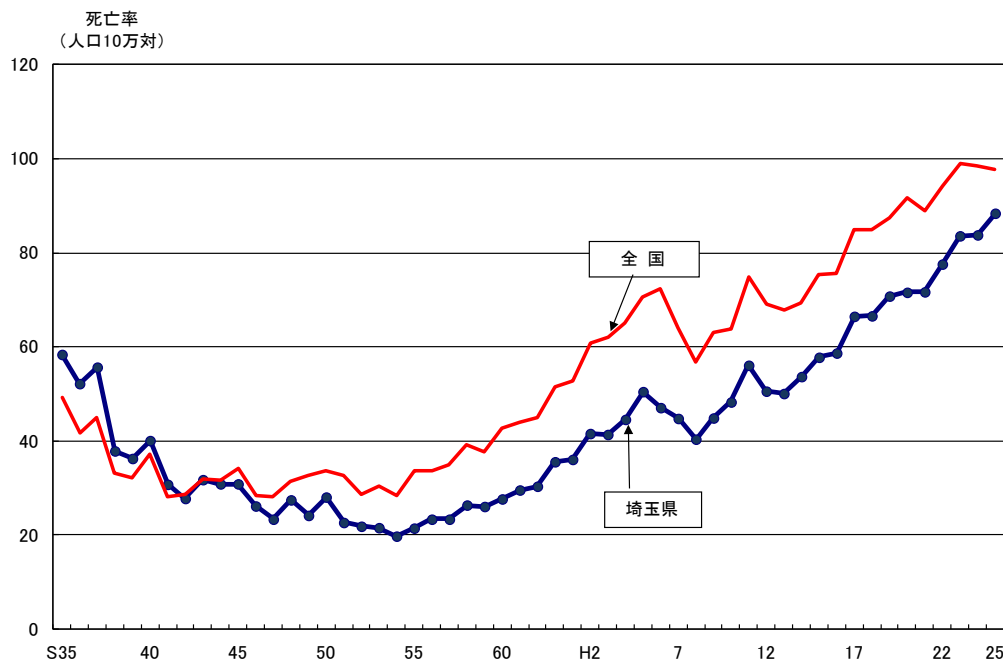
また、各年齢階級の死亡総数に占める割合は、90歳以上が16.4%で最も多く、80～89歳が14.2%、70～79歳が8.0%の順となっている。

死亡率(人口10万対)は、88.4で近年は上昇傾向にある。全国は97.8である。

表－11 肺炎による死亡数及び割合(年齢階級別)

埼玉県											
	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	60 264	295	292	609	1 535	2 866	8 313	15 313	20 151	10 886	4
肺炎による死亡数	6 309	4	6	8	23	64	333	1 229	2 852	1 790	-
(各年齢階級別割合)	100.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	1.0%	5.3%	19.5%	45.2%	28.4%	-
死亡総数に占める割合	10.5%	1.4%	2.1%	1.3%	1.5%	2.2%	4.0%	8.0%	14.2%	16.4%	-

図－11 肺炎による死亡率の年次推移(埼玉県・全国)



(オ)脳血管疾患

脳血管疾患による死亡数は5,472人で、死亡総数の9.1%を占めている。

年齢階級別にみると、80～89歳が2,048人で最も多く、70～79歳が1,270人、90歳以上が1,125人の順となっている。

また、各年齢階級の死亡総数に占める割合は、90歳以上が10.3%で最も多く、次いで80～89歳が10.2%、40歳～49歳が8.4%、70～79歳が8.3%の順となっている。

死亡率(人口10万対)は、76.7で近年は横ばいに推移している。全国は94.1である。

表－12 脳血管疾患による死亡数及び割合(年齢階級別)

埼 玉 県											
	総数	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	不詳
死亡総数	60 264	295	292	609	1 535	2 866	8 313	15 313	20 151	10 886	4
脳血管疾患による死亡数	5 472	5	7	28	129	229	631	1 270	2 048	1 125	-
(各年齢階級別割合)	100.0%	0.1%	0.1%	0.5%	2.4%	4.2%	11.5%	23.2%	37.4%	20.6%	-
死亡総数に占める割合	9.1%	1.7%	2.4%	4.6%	8.4%	8.0%	7.6%	8.3%	10.2%	10.3%	-

図－12 脳血管疾患による死亡率の年次推移(埼玉県・全国)

